



自ら学び、進んで行動する

キラリと光る励徳っ子

第41号

R5.2.24発行

文責 永田 功臣

県学力・学習状況調査の結果から

昨年12月5日(月)、6日(火)に3年生以上を対象にした熊本県学力・学習状況調査が行われました。その結果が出ましたので、全職員で今年度の学習状況を振り返ったところです。

結果については、右のとおりですが、**県平均と比較して大きく上回っており**、良好といえます。ただ、領域別にみると、「話す・聞く」や「我が国の言語文化」等、学年によってはわずかではありますが、県平均より下回っている部分もありますので、課題と捉えて今後強化していきたいと思えます。さらに個人毎に分析して、理解できていない部分については、今後個別指導やフォローアッププリント等で課題克服に取り組みます。

| | 国語 | 算数 |
|----|----|----|
| 3年 | ◎ | ◎ |
| 4年 | ◎ | ○ |
| 5年 | ◎ | ◎ |
| 6年 | ○ | ◎ |

【県平均正答率との比較】
◎10ポイント以上上回る
○5ポイント以上上回る

個人票につきましては、今度の学級懇談会時に配布を予定しています。また、今週は、全学年とも**学力検査**を実施しました。その結果もあわせて、今後の対策を行っていきたく思います。ご家庭でも**家庭学習を計画的に**できるよう見守っていただきますようお願いいたします。

今年度最後の児童集会



早いもので、児童集会も今年度最後となり、企画委員会から「**次期企画委員を選ぶ選挙**について」と「**お別れ会でのレクリエーションの内容**について」のお知らせがありました。3月10日(金)にお別れ会と送別遠足を予定していますが、そこからは、新しい企画委員の仕事となります。新しい企画委員を選ぶにあたって、「**自分たちを引っ張ってってくれる人**」という項目がありました。やらされるのではなく、**自分たちで学校をつくっているという意識**があると、後で小学校生活を振り返ったときに思い出として強く残るものです。



そういう意味で、今年度の企画委員のみなさん、学校を盛り上げてくれてありがとう。いろいろな企画でみんなを楽しませてくれました。もう少し時間があります。最後まで、みんなを引っ張って行って下さい。また、新しく企画委員に選ばれた人は、さらに「自分たちで」という意識を持って頑張ってください。

私の大切にしたい「励徳プライド」

～中学校進学・最高学年進級に向けて～

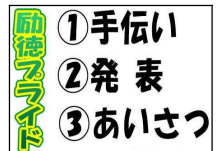
ぼくが大切にしたい励徳プライドは「発表」です。なぜなら、今あまり発表ができていないからです。そのために、先生の話をしっかり聞き、自分の考えを持ち意見につなげます。そして、勇気をもって発表をします。

六年 村上 湧政

私が大切にしたい励徳プライドは、「発表」+「優しくすること」です。なぜなら、中学生になると人数が多くなり、発表できなくなると思ったし、困っている人を見たら無視するのではなく、声をかけて安心してほしいからです。そのために、小学生の時から勇気を持って積極的に発表し、優しく声をかけます。

六年 松永 萌音

自分の考えを多くの人の前で言うには、確かに**勇気が必要**です。そのためには、「発表する」ことが自分だけでなく、**みんなのプラスになる**



ということに確固たる自信を持たなければなりません。励徳小では、そういう練習を授業や行事等ですつと続けてきました。卒業後もその「プライド」を忘れずにいろいろな場所で発揮してほしいと思います。

ちよこっとサイエンス



ロケットやミサイルが、最近の話題となっています。さて、**なぜロケットは上に上がるのでしょうか**。考えたことはありませんか。子どもの頃はロケット花火で遊んだり、理科の授業ではペットボトルロケットを飛ばしたりしていました。大小の違いはありますが、化学反応や空気の圧力等のエネルギーを利用して**物質を反対方向に噴き出す**ことは同じです。**力を加えると反対方向に同じ力がはたらくという「作用反作用の法則」**を利用しています。

日常生活の中でも様々なところでこの「作用反作用」がはたらいています。特に、運動競技ではこのことを考えることが大事です。ちょっと考えてみましょう。